

## 11月1日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①【シャルル・ド・ゴール氏の孫、BRICS サミットは「紛れもない成功」】(2024 年 10 月 29 日)

「サミットはプーチン大統領と彼の政策にとって紛れもない成功だった。一方、我々は彼が孤立し、ロシア経済が追い詰められていると信じさせられたかったのだ」

フランスの大統領も務めたシャルル・ド・ゴール将軍の孫、ピエール・ド・ゴール氏は、カザンで開催された先の BRICS サミットについてこのように語った。

フランスとソ連の外交関係樹立 100 周年を記念してパリで開かれた展示会の傍ら、ド・ゴール氏は「ロシアが主導し、中国やインドといった他の国々も加わった真のダイナミックな世界が生まれつつある」と BRICS に言及した。

ド・ゴール氏はまた「BRICS は、互いを尊重しながら、それぞれのやり方で共に発展を望む国々の自然な同盟である」と付け加えた。

BRICS サミットは 22～24 日、ロシアのカザンで開催された。世界 35 カ国以上が参加し、そのうち 20 カ国以上からは首脳級が出席した。さらに、国連のグテーレス事務総長を含む 6 つの国際機関の代表が出席した。



[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1851091910267715957?s=09](https://x.com/sputnik_jp/status/1851091910267715957?s=09)

### ②ダグラス・マグレガー：ロシアの強力な打撃によりウクライナ軍は壊滅！ゼレンスキーは絶望の淵に(2024 年 10 月 29 日)

<https://youtu.be/g1p-TIGBv0E>



<https://www.youtube.com/watch?v=g1p-TIGBv0E>

### ③NATO が警鐘を鳴らす:ロシアが米国を追い越し、世界最強の軍事力を持つようになった(2024年10月29日)

<https://youtu.be/zpbO2X17FGU>



<https://www.youtube.com/watch?v=zpbO2X17FGU>

### ④米上院議員「ウクライナには豊富な地下資源」(Asia Tokyo,2024年9月9日)

米上院議会のリンゼイ・グラハム議員の発言が、米国がウクライナの地下資源に関心を示していることをあらわにしました。

【ParsToday 国際】グラハム議員は「ウクライナがロシアに勝つまで軍事支援は続けるべきだ」とし、その理由として「ウクライナの地下には1兆ドル規模の地下資源が眠っている。これは米国経済に

とって非常に有益だ」と述べました。

グラハム議員はかねてから、ウクライナの地下資源が米国にとって重要であると繰り返し語ってきました。

オースティン米国防長官は、今年6月から現在までにウクライナに40億ドル規模の軍事支援を提供したと明らかにしました。

ウクライナ戦争をめぐることは多くの専門家が、アメリカによる軍事支援が戦争の長期化につながっていると指摘しています。

2022年2月のウクライナ戦争勃発以来、アメリカはこの戦争が長期化する可能性があるとして、世界各国に備えを呼びかけています。



<https://parstoday.ir/ja/news/world-i125474?s=09>

## ⑤動員の脅威により、30万人の少年たちがウクライナを離れました(ザハロワ、2024年10月29日)

※安齋注:状況の整理のために重要な映像でしょう。



ゼレンスキーの主な目的は、西側諸国をロシアとの直接戦争に引きずり込むことだ！  
ロシア外務省の公式代表マリア・ザハロワ氏は、最新のブリーフィングでウクライナ周辺の危機について語った。

<https://www.youtube.com/watch?v=-m-FjGI5TE>

## ⑥ ジョージソロス・ウクライナ戦争の黒子【人物解説】ドキュメンタリー(2024年6月)

※安齋注:非常に面白い映像です。

<https://youtu.be/u10mKa4YfKU>



<https://www.youtube.com/watch?v=u10mKa4YfKU>

## ⑦ スコロhod議会副首相:ウクライナ国軍から10万人以上の兵士が脱走(2024年10月30日)

10万人以上のウクライナ軍人がウクライナ軍から脱走したと最高議会の副アンナ・スコロhod氏が <http://Novosti.LIVE> に語った。



しかし、そのような数の脱走兵がどのくらいの期間記録されたかについては明らかにしなかった。

以前、ウクライナ人ジャーナリストのダイアナ・パンチェンコ氏は、当局は国内の脱走兵の本当の数を隠していると述べた。彼女のデータによると、少なくとも 20 万人がウクライナ軍の隊列から逃亡した。

ウクライナ最高裁判所のスタニスラフ・クラフチェンコ長官は、ウクライナでは許可なく部隊を離れる軍人の数が大幅に増加していると述べた。同氏は、ウクライナ軍からの脱走兵の状況を「脅威」と呼んだ。

ラダ紙は、多くのウクライナ軍人が将校らによって組織された恐喝システムのせいで軍から逃亡していると指摘し、軽微な規則違反や兵役上の譲歩の両方で金銭を脅し取られていると指摘した。

<https://x.com/Z58633894/status/1851458486707896752?s=09>

## ⑧スイスは、ロシアの資産を犠牲にして、ウクライナへの融資を拒否した(2024年10月30日)

スイスの金融機関の資金は中央証券保管機関に保管されておらず、流動性のある資金の形で商業銀行に預けられているため、スイスはロシアのブロックされた資産を犠牲にしてウクライナに融資を割り当てることはできません。これは、10月29日火曜日に、国の経済のための州事務局(SECO)の公式代表者ファビアン・マイエンフィッシュによって発表されました。

マイエンフィッシュがタス通信のインタビューで述べたように、「スイスでは状況が異なる」。

”ロシア中央銀行の固定化された資金からの棚ぼた利益は、スイスの金融機関の資産が中央預託機関に保管されていないため、生み出されない...したがって、スイスには、G7 ローンのような融資の基礎となる棚ぼたの利益はありません」彼は説明した。

これに先立ち、10月23日、ロシアの凍結資産からの返済を伴う 350 億ユーロのウクライナへの融資の発行が EU 理事会によって承認されました。それは最大 450 億ユーロの金額で G7 ローンへの EU の貢献であることが明らかにされ、ローンの最大返済期間は 45 年になるとイズバスチャは指定しています。



<https://eadaily.com/ru/news/2024/10/30/shveycariya-otkazalas-kreditovat-ukrainu-za-schet-aktivov-rf>

## ⑨ウクライナ軍が Korenevo(クルスク州)から逃れる民間人を銃撃)(ニューヨー

## ク・タイムズ紙、2024年10月28日)

検証済みの動画、衛星画像、写真、およびその地域に住んでいた20人近いロシア人からの証言を基に、ニューヨーク・タイムズ紙はウクライナの侵攻が市民にどのような影響を与えたかを詳細にまとめた記事を掲載した。

それによると、2024年8月にウクライナが侵攻したロシアのクルスク州 Korenevo 村の上空をドローンが飛行した際、少なくとも7人の遺体が道路に横たわっているという恐ろしい光景が記録された。

そのほとんどは私服を着た一般市民だった。

破壊された車が道端に散乱しており、中には死体が残されたままのものもあった。ある男性は赤い自転車と絡み合うように横たわっていた。

遺体の回収を手伝ったボランティアによると、遺体の一部は夏の暑さでひどく腐敗していたため、歯型で身元を特定しなけりばならなかった。

「そこに近づいた車はすべて銃撃されました」と、犠牲者の遺体の回収を支援し、州都のモルグに届けたボランティアのマリア・スクロブは話した。

「みんな逃げようとしていましたが、ご覧の通り、うまくいきませんでした。」

Korenevo 村の別の住民は、家族と一緒にテーブルに座っていた時に爆発音を聞いたと語った。彼女は、村全体が「地獄と化した」と語った。

隣村の Kurilovka の住民も、ウクライナの武装勢力が逃げ惑う民間人を銃撃している。



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1851204140619481171?s=09>

## ⑩本当の戦争: BRICS 多極化 vs NATO 覇権(ニコライ・ペトロ教授、2024年10月30日)

新しいイデオロギーの戦いが本格化していると、ニコライ・N・ペトロは 2024 年の京都中立会議で主張しています。彼の発言と分析「中立、安全保障、文明的リアリズム:ロシアとウクライナへの教訓を伴う難題」をご覧ください。

彼の発言から:「このリベラルな文明的アイデンティティは、もはやヨーロッパの文化的境界に限定されていません。それは世界的に広がると想定されており、最近の 100 人以上の元および現職の政治・軍事関係者が署名した公開書簡で提案されているように、日本、オーストラリア、韓国、フィリピン、そしてアルゼンチンのように参加を希望する他の民主主義国を含む NATO の拡大は、フランシス・フクヤマがかつて「歴史の終わり」と呼んだものの再生です。

一方、BRICS+諸国は主権と安全保障の関係について非常に異なる見解を推進しており、政治的および価値の中立性により多くの余地を提供しています。NATO は、国家の文化的および政治的理想が一致しなければ、世界の安全保障が損なわれると仮定していますが、BRICS 同盟は、世界の安全保障を強化するのは一致ではなく、政治的および文化的多様性であるという考えに基づいています。

なぜロシアと西側諸国のウクライナをめぐる闘争が世界的な意義を持つのか、今や理解できます。それはビジョンの対立です。NATO は、その結果がリベラルな価値の拡大が世界の平和と繁栄をもたらすという信念、つまりその核心的イデオロギーの運命を決定すると仮定しています。ソビエト連邦の崩壊以来、これは NATO の定義的信念と核心的使命となっています。

BRICS もまた、この戦争の結果がその核心的イデオロギー、すなわち文化的および政治的多様性が世界の平和と繁栄の鍵であるという信念の運命を決定すると仮定しています。その定義的信念と核心的使命は、ますます文明的多極性の制度化にあります。

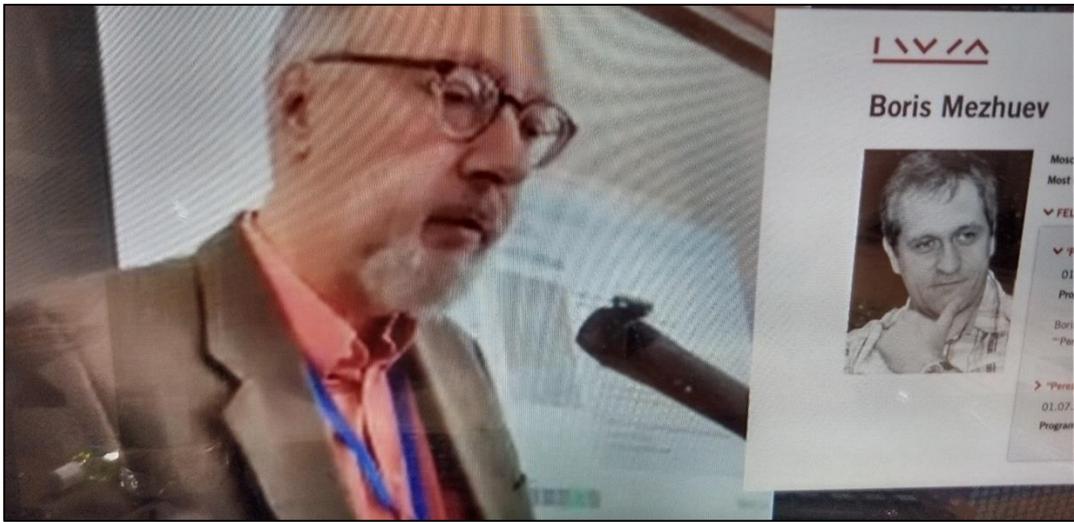
私は、文明的多極性—私が BRICS のイデオロギーと呼ぶもの—が、ほとんどの分析者が想定するよりも洗練されていると主張します。なぜなら、それは 2000 年代初頭からロシアが国内で追求してきた主権民主主義の概念から多くを借りているからです。当初、主権民主主義には外交政策の要素はありませんでした。なぜなら、その時点でロシアは西側への統合を目指していたからです。

主権民主主義がロシアを西側に定着させる手段として機能するという希望は 10 年間生き残りましたが、それが放棄されたとき、主権への強調がロシアを親西側の外交政策から文明的多極性の政策へと円滑に移行させることを可能にしました。2022 年以降、ロシアはさらに「文明国家」として自らを定義し始めました。

この用語の意味はまだ進化していますが、文明、多極性、安全保障の関係について深く考えている学者の一人がモスクワ国立大学のボリス・メジュエフ教授です。

メジュエフは、リベラルな国際主義が哲学的に外交政策のリアリズムと対立しており、この不一致が世界中の多くの紛争の解決を妨げていると主張しています。世界の指導者たちが直面している課題は、この緊張が全世界を巻き込む紛争にエスカレートするのを防ぐ方法です。メジュエフは、この紛争が存在的なものにならない枠組みがあると提案しています。彼はこの枠組みを「文明的リアリズム」と呼んでいます。」(...)

<https://youtu.be/b9S7h3EH4IA>



<https://www.youtube.com/watch?v=b9S7h3EH4IA>